

OMU Students 海外留学レポート



氏名	HM
所属	生活科学部 居住環境学科
学年	3年
留学先	ソウル市立大学
留学期間	2023/2/26~2023/6/30

留学レポート Study Abroad Report

私は高校生の頃から留学してみたいと思っていたので、小さい頃から興味があった韓国に決めました。韓国語を学ぶにあたってふ標準語の地域に行きたかったのがソウルの大学を選びました。

バディについて

ソウル市立大学にはソウルメイトという団体があり、留学生 5~7 人のグループに 1 人留学生の生活をサポートするために韓国人の学生がついてくれました。学校や日常の手続きなどを手伝ってもらったり、仲良くなって一緒にご飯を食べたり、ソウルメイト主催のイベントなどがありました。また、チュータリングという制度があり、ソウルメイトが週に一度韓国語を教えてくれました。とても優しく、一緒にフェスに行ったり遊びに行ったりもしました。ソウルメイトは英語を話せる学生が多く、韓国語と英語を使って何度も手伝ってもらいました。

学校の授業について

平日は学校の授業を受けて、金曜日土曜日日曜日は友達と出かけたり、勉強をしたりして過ごしました。授業は 1 週間で 5 コマ取りました。語学力、コミュニケーション力を伸ばしたかったのと、新しい勉強を試みたかったので、私は人文学科国語国文学科で韓国語を中心に勉強しました。履修した授業は実用韓国語 2 つ、韓国語の発音、韓国の文化、世界都市の 5 つです。世界都市以外は留学生向けの授業で、世界都市は、誰でも履修可能な英語で開講される授業でした。日常会話レベルの実力で韓国に行ったのですが、話す練習はしたことがなかったので、初めは韓国語を聞くことも話すことも何もできませんでした。ですが、実用韓国語の授業、発音の授業をとりながら毎日実践することで、実力を伸ばすことができました。私は独学でしか勉強していなかったので、文法や発音の法則についてちゃんと理解できていない部分が多く、それを学べただけでなく、韓国語を専攻している韓国人の先生に教えてもらえるので、些細なことでもなんでも質問することができ、本当に勉強するのにとてもいい環境だったなと思います。

留学生活が始まって、3ヶ月目の5月あたりから、自分の韓国語の成長を実感しました。挨拶だけでなく、韓国人の友達との日常会話を難なくできるようになってきました。自分の実力がないことが悔しく、毎日の勉強計画を立てて勉強しました。私は今まで計画を立てることが苦手で、勉強もやりたい時にすることしかなかったのが、計画性や実行力が伸びたと感じました。韓国語が伸びたのはこれだけでなく、これを毎日実践する場がたくさんあったことが大きいと思います。韓国人や留学生と韓国語で話すこと、そして毎日うまくいかないことばかりなのでもっとみんなと話せるようになりたいと感じるこ

と、これらが1番韓国語が伸びた理由だと思います。

その他の思い出

特に思い出に残っているのが、サークル活動と、多国籍の友達ができたことです。

私はダンスが好きなので、大学のダンスサークルに入りました。ソウル市立大学は留学生が多く、普段は留学生とソウルメイトぐらいしか関わりがないのですが、サークルには外国人がほとんどおらず、全て韓国語で行われるのでとても刺激的な環境でした。私はちょうど春学期に入り、5月にあった学祭の舞台に出ることができました。参加するには、オーディションもあり、言葉が不自由なだけでなく、不安なことしかなかったのですが、いいチャンスを失いたくないのと、韓国で韓国人の学生に混じってK-popダンスを踊れるというのが嬉しかったので、挑戦してみました。初めは距離を詰めるのも難しく、言いたいことを言えないのも、みなさんが気を遣ってくれてるのに、なかなかコミュニケーションが取れないのが辛かったですが、本当に優しい人たちに恵まれて、だんだん仲良くなり、一緒に練習したり、ご飯を食べたり、学校で会って挨拶する毎日がとても楽しかったです。



この写真は、学祭の後に一緒に踊ったメンバーと撮った写真と、みなさんと韓国の焼肉に行った際の写真です。

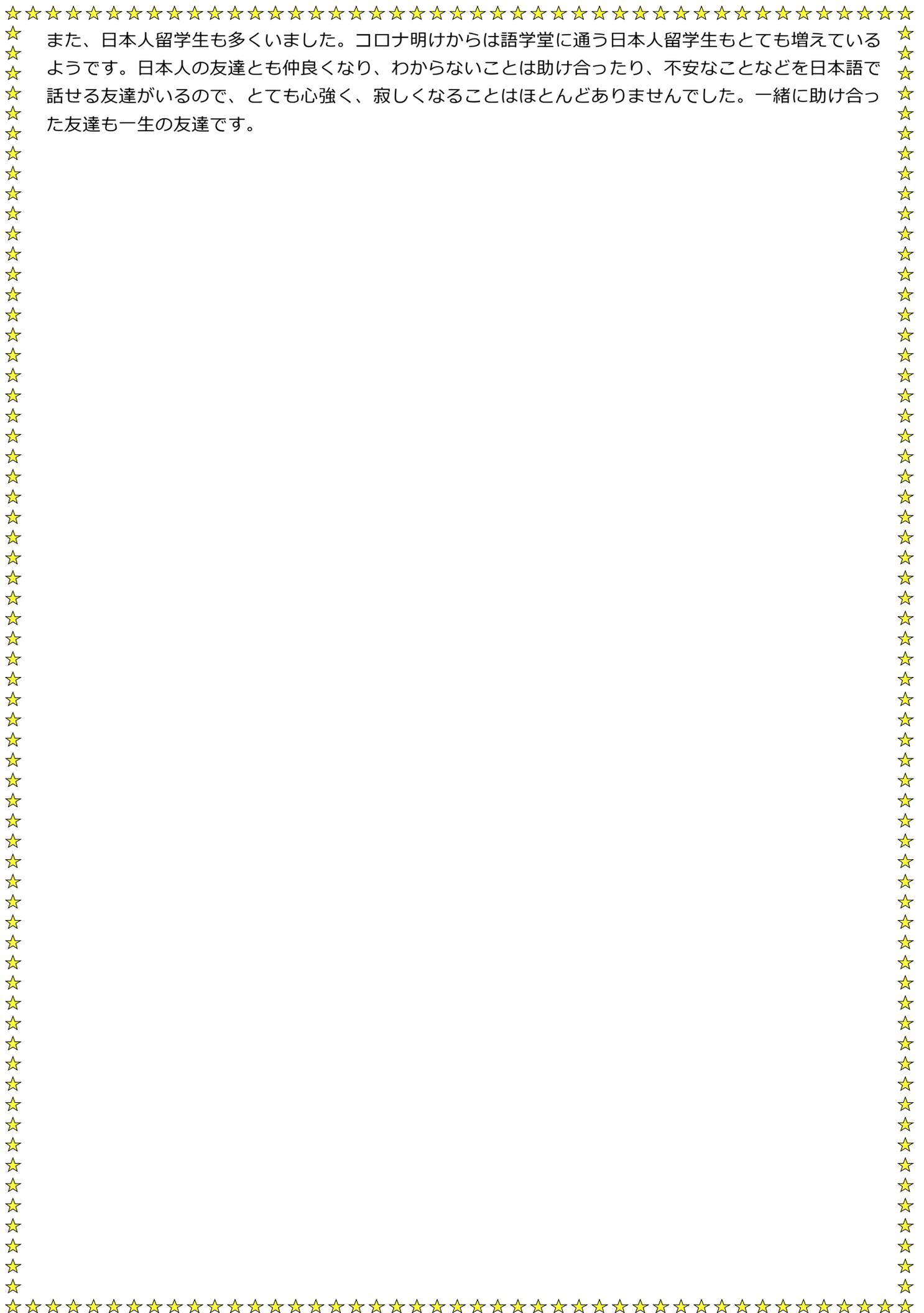
帰国前日には、一緒にご飯を食べて、カラオケで遊んでパーティーをし、ケーキのサプライズもしていただきました。今でもグループチャットで連絡をとっていて、本当にこの出会いは私にとっての宝物になりました。外国人と一緒に踊ることになったのは初めてで、初めは戸惑ったけど、とてもいい経験になったと言っただき、本当に頑張ってた良かったと思いました。

また、韓国人の中に入ることで、一番実際の韓国文化に触れられた時間だったと思います。韓国語の上達も、早くもいろいろなことを一緒に楽しめるようになりたいという思いが大きく影響したと思います。

また、留学生は世界各国から来ており、留学生用の授業を一緒に取ったり、寮に住んでいる留学生がとても多く、たくさんの友達ができました。留学生とはか英語や韓国語を使ってコミュニケーションを取りました。

音楽の趣味がきっかけで仲良くなったドイツ出身の友達とは、毎週のように学校近くのカフェに行き、一緒におしゃべりしながら勉強をしました。彼女とは韓国語と英語を混ぜながら話していたのですが、彼女が英語のネイティブスピーカーなので、英語の課題はたくさん助けてもらいました。





また、日本人留学生も多くいました。コロナ明けからは語学堂に通う日本人留学生もとても増えているようです。日本人の友達とも仲良くなり、わからないことは助け合ったり、不安なことなどを日本語で話せる友達がいるので、とても心強く、寂しくなることはほとんどありませんでした。一緒に助け合った友達も一生の友達です。